

短 報

# 肉用鶏に発生した腺胃の線毛性前腸性嚢胞

渡辺一雅      阿部増美      金子和華子      清宮幸男<sup>†</sup>

(一社)岩手県獣医師会食鳥検査センター (〒020-0851 盛岡市向中野 5-28-27)

(2025 年 7 月 3 日受付・2025 年 11 月 5 日受理・2026 年 4 月 17 日公開)



本文はこちら  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/79/4/79\\_e41/\\_article/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/79/4/79_e41/_article/-char/ja)

## 要 約

腺胃の線毛性前腸性嚢胞 (CFC) に罹患した 44 日齢の肉用鶏 1 例に遭遇した。長径 64 mm の楕円球状嚢胞が腺胃及び遠位食道の背側に密着していたが、前者に優勢に密着していた。嚢胞は単房性で、ほぼ平滑な内面を有し、内腔に淡明粘液を満たしていた。病理組織学的に、嚢胞壁は内張り上皮、上皮結合組織、平滑筋層及び線維性被膜により構成され、内張り上皮は杯細胞の散在を伴う偽重層線毛円柱上皮並びに線毛を欠く単層上皮よりなり、平滑筋層間に複合管状腺が存在した。線毛を欠く内張り上皮及び複合管状腺の由来として腺胃粘膜が示唆された。すなわち、嚢胞を内張りする偽重層線毛円柱上皮及び腺胃粘膜の共通起源は気管支、食道及び腺胃の原基が発生する前腸であり、同嚢胞は CFC と診断された。本例は鶏にみられた腺胃の CFC の初報告である。

——キーワード：肉用鶏，線毛性前腸性嚢胞，腺胃。

----- 日獣会誌 79, e41～e46 (2026)